

SPA100シリーズのユーザ設定

目的

SPA100シリーズには、PHONE1とPHONE2の2つの電話回線ポートがあります。各回線は特定のユーザに割り当てることができます。SPA100シリーズの設定ユーティリティには、各電話回線のユーザの設定オプションが用意されています。この記事は、コール転送、選択的コール転送、スピードダイヤル、および呼出音の設定を含むすべてのユーザ設定のページです。これらの設定はすべて、管理者が効果的に作業し、設定後の時間を節約するために必要です。この記事では、これらの設定と設定方法について詳しく説明します。

該当するデバイス

- ・ SPA100シリーズ

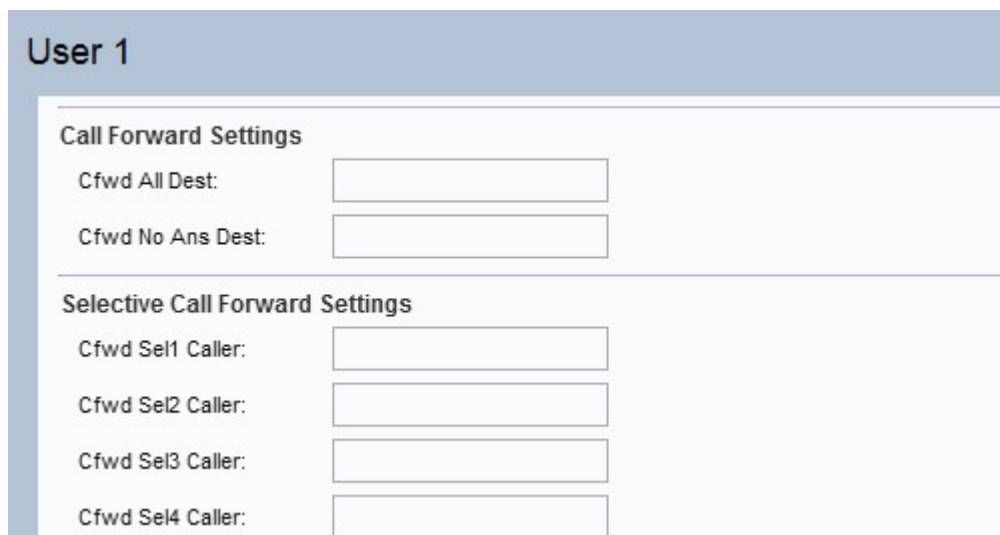
[Software Version]

- ・ v1.2.1(004)

ユーザ設定

注：これらの設定は、GUIの[ユーザ2]ページでも設定できます。会議の設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Voice] > [User1]を選択します。[User 1]ページが開きます。



User 1

Call Forward Settings

Cfwd All Dest:

Cfwd No Ans Dest:

Selective Call Forward Settings

Cfwd Sel1 Caller:

Cfwd Sel2 Caller:

Cfwd Sel3 Caller:

Cfwd Sel4 Caller:

注：管理者は、最初に[Line 1]ページでそれぞれの設定を有効にし、次に[User 1]ページでその指定フィールドの番号を入力して、機能を正しく動作させる必要があります。ユーザ1ページの[Call Forward Settings]セクションを設定する前に、[Line 1]ページの補足サービスサブスクリプションセクションで[Cfwd All Serv]、[Cfwd Busy Serv]、および[Cfwd No Ans Serv]を有効にします。

ステップ2:[ユーザ1]ページで、ページの[不在転送の設定]セクションまでスクロールします。

Call Forward Settings			
Cfwd All Dest:	<input type="text"/>	Cfwd Busy Dest:	<input type="text"/>
Cfwd No Ans Dest:	<input type="text"/>	Cfwd No Ans Delay:	20

- ・ Cfwd All Dest:[Line 1]ページで[Cfwd All Serv]フィールドが有効になっている場合は、管理者がすべてのコールを転送したい電話番号を[Cfwd All Dest]フィールドに入力します。
- ・ [Cwd Busy Dest]:[Line 1]ページで[Cfwd Busy Serv]フィールドが有効になっている場合は、[Cfwd Busy Dest]フィールドに電話回線が使用中の場合に管理者がすべてのコールを転送したい電話番号を入力します。
- ・ Cfwd No Ans Dest:[Line 1]ページで[Cfwd No Ans Serv]フィールドが有効になっている場合は、[Cfwd No Ans Dest]フィールドに着信者番号からの応答がない場合に、管理者がすべてのコールを転送したい電話番号を入力します。
- ・ Cfwd No Ans Delay:[Cfwd No Ans Delay]フィールドに、着信者番号からの応答がない場合にコールが転送されるまでの遅延時間(秒)を入力します。指定された時間だけ待機し、応答がなければコールは転送されます。デフォルト設定は**20秒**です。

注：選択的な自動転送の設定も、このデバイスで有効にできます。この機能を使用すると、指定された番号からのコールが目的の宛先番号に転送されます。最大8コールを目的の宛先番号に転送できます。

ステップ3：ページの[Selective Call Forward Settings]セクションに移動します。

Selective Call Forward Settings

Cfwd Sel1 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel1 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel2 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel2 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel3 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel3 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel4 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel4 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel5 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel5 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel6 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel6 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel7 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel7 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel8 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel8 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Last Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Last Dest:	<input type="text"/>
Block Last Caller:	<input type="text"/>	Accept Last Caller:	<input type="text"/>

- ・ Cfwd Sel1-8 Caller:[Cfwd Sel1 Caller]フィールドに、管理者がコールを別の番号に転送するために指定した番号を入力します。
- ・ Cfwd Sel1-8 Dest：ステップ2で指定した番号でコールがコールされたときに管理者がコールを転送する宛先番号を、[Cfwd Sel1 Dest]フィールドに入力します。
- ・ Cfwd Last Caller：コール転送アクティベーションコードを使用してCfwd Last Destにアクティブに転送される発信者番号をこのフィールドに入力します。
- ・ Cfwd Last Dest：このフィールドにCfwd Last Callerパラメータの転送番号を入力します。
- ・ [最後の発信者をブロック(Block Last Caller)]:[最後の発信者をブロック(Block Last Caller Service)]でブロックされた発信者のIDを、このフィールドに入力します。
- ・ Accept Last Caller：このフィールドに、Accept Last Caller Serviceで受け入れた発信者のIDを入力します。

ステップ4：ページの[Speed Dial Settings]セクションに移動します。

Speed Dial Settings

Speed Dial 2:	<input type="text"/>	Speed Dial 3:	<input type="text"/>
Speed Dial 4:	<input type="text"/>	Speed Dial 5:	<input type="text"/>
Speed Dial 6:	<input type="text"/>	Speed Dial 7:	<input type="text"/>
Speed Dial 8:	<input type="text"/>	Speed Dial 9:	<input type="text"/>

- ・ スピードダイヤル2-9：フィールド[スピードダイヤル2-9]に、対応するボタン番号にマッピングする電話番号を入力します。スピードダイヤル番号1スロットはボイスメール用に予約されています。

ステップ5：ページの[Supplementary Service Settings]セクションに移動します。

Supplementary Service Settings

CW Setting:	<input type="text" value="yes"/>	Block CID Setting:	<input type="text" value="no"/>
Block ANC Setting:	<input type="text" value="no"/>	DND Setting:	<input type="text" value="no"/>
CID Setting:	<input type="text" value="yes"/>	CWCID Setting:	<input type="text" value="yes"/>
Dist Ring Setting:	<input type="text" value="yes"/>	Secure Call Setting:	<input type="text" value="no"/>
Message Waiting:	<input type="text" value="no"/>	Accept Media Loopback Request:	<input type="text" value="automatic"/>
Media Loopback Mode:	<input type="text" value="source"/>	Media Loopback Type:	<input type="text" value="media"/>

- ・ [CW設定(CW Setting)] : ドロップダウンリストから[はい(yes)]または[いいえ(no)]を選択し、すべてのコールのコールウェイティングを使用します。デフォルトはyesに設定されています。
 - ・ Block CID Setting : ドロップダウンリストから[yes]または[no]を選択して、すべてのコールの発信者IDをブロックします。デフォルトはnoに設定されています。
 - ・ Block ANC Setting : ドロップダウンリストから[yes]または[no]を選択して、匿名コールをブロックします。デフォルトはnoに設定されています。
 - ・ [DND設定(DND Setting)] : ドロップダウンリストから[はい(yes)]または[いいえ(no)]を選択し、[サイレント(DND (Do Not Disturb))]オプションを使用します。デフォルトはnoに設定されています。
 - ・ CID Setting : ドロップダウンリストから[yes]または[no]を選択して、発信者ID生成オプションを使用します。デフォルトはyesに設定されています。
 - ・ [CWID設定(CWID Setting)] : ドロップダウンリストから[はい(yes)]または[いいえ(no)]を選択して、コールウェイティング発信者ID生成を使用します。デフォルトはyesに設定されています。
 - ・ Dist Ring Setting : ドロップダウンリストから[yes]または[no]を選択して、固有呼び出し音を使用します。デフォルトはyesに設定されています。
 - ・ Secure Call Setting : ドロップダウンリストから[yes]または[no]を選択します。yesに設定すると、すべての発信コールがセキュアになり、ユーザは*19をダイヤルしてコールのセキュリティを無効にできます。noに設定すると、すべての発信コールがセキュアではなく、ユーザは*18をダイヤルしてセキュアなコールを発信できます。
- 注 : この設定は、回線インターフェイスでSecure Call Servがyesに設定されている場合のみ機能します。
- ・ Message Waiting : ドロップダウンメニューから[yes]または[no]を選択します。yesに設定すると、スタタートーンとVMWI信号がアクティブになります。デフォルトはnoに設定されています。
 - ・ Accept Media Loopback Request : ドロップダウンリストから[never]、[automatic]、または[manual]を選択します。[not]を選択すると、ループバックコールは受け入れられません。[自動]を選択すると、呼び出し音を鳴らさずに自動的にコールを受け入れます。[manual]を選択すると、電話が鳴り、ループバックが開始する前にコールを手動で選択する必要があります。デフォルトは自動に設定されています。
 - ・ Media Loopback Mode : ドロップダウンリストから、メディアループバックを要求するコールを発信するときにローカルで想定するループバックモードを選択します。オプショ

ンは、ソースとミラーです。デフォルトはsourceに設定されています。

- ・ Media Loopback Type : ドロップダウンリストから、メディアループバック操作を要求するコールを発信するときにローカルで想定するループバックタイプを選択します。オプションは、メディアとパケットです。デフォルトはmediaに設定されています。

ステップ6 : ページの[Distinctive Ring Settings]セクションに移動します。

Distinctive Ring Settings			
Ring1 Caller:	<input type="text"/>	Ring2 Caller:	<input type="text"/>
Ring3 Caller:	<input type="text"/>	Ring4 Caller:	<input type="text"/>
Ring5 Caller:	<input type="text"/>	Ring6 Caller:	<input type="text"/>
Ring7 Caller:	<input type="text"/>	Ring8 Caller:	<input type="text"/>

- ・ Ring1 - 8 Caller : これらのフィールドに、最大8人の発信者に対して固有呼び出し音を再生する発信者番号パターンを入力します。

ステップ7 : ページの[Ring Settings]セクションに移動します。

Ring Settings			
Default Ring:	<input type="text" value="1"/>	Default CWT:	<input type="text" value="1"/>
Hold Reminder Ring:	<input type="text" value="8"/>	Call Back Ring:	<input type="text" value="7"/>
Cfwd Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>	Cblk Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>
VMWI Ring Policy:	<input type="text" value="New VM Available"/>	VMWI Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>
Ring On No New VM:	<input type="text" value="no"/>		

- ・ Default Ring : ドロップダウンリストからデフォルトのリングパターンを選択します。デフォルトは 1 回に設定されます。
- ・ Default CWT : ドロップダウンリストからデフォルトのCWT (コールウェイティング) パターンを選択します。デフォルトは 1 回に設定されます。
- ・ [保留リマインダリング(Hold Reminder Ring)] : ドロップダウンリストから、電話機がオンフックのときに保留コールをリマインダするための呼び出しパターンを選択します。デフォルトは 8 回に設定されます。
- ・ [Call Back Ring] : ドロップダウンリストから選択します。コールバック通知の呼び出しパターンです。デフォルトは 7 回に設定されます。
- ・ Cfwd Ring Splash Len : このフィールドに、コールの転送時のリングスプラッシュの継続時間 (0 ~ 10.0秒) を入力します。デフォルト値は0に設定されています。
- ・ Cblk Ring Splash Len : コールがブロックされたときのリングスプラッシュの継続時間 (0 ~ 10.0秒) をこのフィールドに入力します。デフォルト値は0に設定されています。
- ・ VMWI Ring Policy : ドロップダウンリストから、このフィールドの次のいずれかのオプションを選択します。デフォルトは[New VM Available]に設定されています。
 - [New VM Available]:[New VM Available]を選択すると、新しいボイスメッセージがある限り、リングスプラッシュが再生されます。
 - [新しいVMが使用可能になる(New VM Becomes Available)] : 新しいVMが使用可能にな

ると、最初の新しいボイスメッセージが受信された時点でリングスプラッシュが再生されます。

- [新しいVMが到着(New VM Arrives)]:[新しいVMが到着(New VM Arrives)]が選択されている場合、新しいボイスメールメッセージの数が増加すると、リングスプラッシュが再生されます。

・ VMWI Ring Splash Len:VMWI信号が適用される前に新しいメッセージが届いたときに、リングスプラッシュの継続時間をこのフィールドに入力します。範囲は0 ~ 10.0秒です。デフォルト値は0に設定されています。

・ Ring On No New Vm : ドロップダウンリストからyesまたはnoを選択します。yesを選択すると、ボイスメールサーバがSIP NOTIFYメッセージをATAに送信したときに、ATAはリングスプラッシュを再生し、すべてのボイスメールが読み取られたことを示します。デフォルトはnoに設定されています。

ステップ8:[送信]をクリックして、変更を保存します。